様式第７－１

施工チェックリスト

１　共通項目

|  |  |
| --- | --- |
| 適合 | 項目 |
|  | 施工中・施工後の写真を撮影した。 |
|  | 使用資材が県要綱別表１－１の基準に適合していると分かるように写真を撮影した。 |
|  | 断熱改修を行った開口部について、１箇所ごとに写真を撮影した。 |

２　天井を改修する場合（該当する場合のみ）

|  |  |
| --- | --- |
| 適合 | 項目 |
|  | 断熱材を隙間なく施工した。 |
|  | 天井面の断熱材は、防湿フィルムを室内側に施工した。※防湿フィルムの施工が不要な断熱材を用いた場合を除く。ただし、施工不要理由が分かる資料（カタログ等）を添付すること。 |
|  | 天井は、内装下地を塞ぐ前に断熱材施工が分かるように写真を撮影した。 |

３　壁・床（基礎）を改修する場合（該当する場合のみ）

|  |  |
| --- | --- |
| 適合 | 項目 |
|  | 断熱材を隙間なく施工した。 |
|  | 防湿フィルムの耳部分は、柱や間柱の見付け面に留めた。※防湿フィルムの施工が不要な断熱材を用いた場合を除く。ただし、施工不要理由が分かる資料（カタログ等）を添付すること。 |
|  | 外壁と床（基礎）の取り合い部、間仕切り壁と床の取り合い部に気流止めを施工した。 |
|  | 壁・床（基礎）の施工は、内装下地を塞ぐ前に断熱材施工が分かるように写真を撮影した。 |

４　設備の効率化工事をする場合（該当する場合のみ）

|  |  |
| --- | --- |
| 適合 | 項目 |
|  | 機器の仕様に適合するよう適切に施工した。 |
|  | 不可視部分をふさぐ前に施工状況が分かるように写真を撮影した。 |

上記内容について施工内容等と相違ないことを確認しました。

※確認した項目の適合欄にチェックをしてください。

　　　　年　　月　　日

事業者名

担当者名

様式第７－１

消すことができるインクのペンで記入した書類、修正液や

砂消しゴム等を使用した書類は認められません。

**【記入例】**

施工チェックリスト

１　共通項目

|  |  |
| --- | --- |
| 適合 | 項目 |
| ✓ | 施工中・施工後の写真を撮影した。 |
| ✓ | 使用資材が県要綱別表１－１の基準に適合していると分かるように写真を撮影した。 |
| ✓ | 断熱改修を行った開口部について、１箇所ごとに写真を撮影した。 |

２　天井を改修する場合（該当する場合のみ）

|  |  |
| --- | --- |
| 適合 | 項目 |
|  | 断熱材を隙間なく施工した。 |
|  | 天井面の断熱材は、防湿フィルムを室内側に施工した。※防湿フィルムの施工が不要な断熱材を用いた場合を除く。ただし、施工不要理由が分かる資料（カタログ等）を添付すること。 |
|  | 天井は、内装下地を塞ぐ前に断熱材施工が分かるように写真を撮影した。 |

３　壁・床（基礎）を改修する場合（該当する場合のみ）

|  |  |
| --- | --- |
| 適合 | 項目 |
|  | 断熱材を隙間なく施工した。 |
|  | 防湿フィルムの耳部分は、柱や間柱の見付け面に留めた。※防湿フィルムの施工が不要な断熱材を用いた場合を除く。ただし、施工不要理由が分かる資料（カタログ等）を添付すること。 |
|  | 外壁と床（基礎）の取り合い部、間仕切り壁と床の取り合い部に気流止めを施工した。 |
|  | 壁・床（基礎）の施工は、内装下地を塞ぐ前に断熱材施工が分かるように写真を撮影した。 |

４　設備の効率化工事をする場合（該当する場合のみ）

|  |  |
| --- | --- |
| 適合 | 項目 |
| ✓ | 機器の仕様に適合するよう適切に施工した。 |
| ✓ | 不可視部分をふさぐ前に施工状況がわかるように写真を撮影した。 |

上記内容について施工内容等と相違ないことを確認しました。

※確認した項目の適合欄にチェックをしてください。

　　　　令和　○　年　○　月　○　日

事業者名　　○○○○○○○○

担当者名　　○○　○○